

# 災害時の実働シミュレーション ～熊本地震、岩手県台風10号被害を踏まえた 実際の支援活動を理解する～



2017年11月14日（火）

岩手県社会福祉協議会 福祉経営支援部

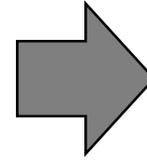
加藤 良太

# 熊本地震での経験をもとに台風10号被害では活動

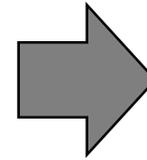
熊本地震  
2016年4月～5月

台風10号被害  
2016年8月～9月

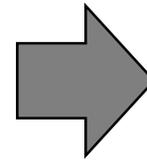
被災地での活動環境  
の確保



他職種との連携



ニーズ把握



# ご説明の流れ

本日のデモンストレーションは、2017年10月に3日間にわたり実施した「岩手県災害派遣福祉チーム員養成スキルアップ研修」での発災～撤収までの訓練の内容をもとに進めます。

(東北福祉大学 都築教授作成資料をもとに構成)

① 準備	
② 発災～待機・派遣指示～出動	
③ 被災地支援-1被災自治体の災対本部訪問	
④ 被災地支援-2支援対象先の視察・調査	
⑤ 被災地支援-3避難所管理者への活動説明・他職種との連携	デモンストレーション
⑥ 被災地支援-4要配慮者班等との連携	
⑦ 被災地支援-5行動計画	
⑧ 被災地支援-6支援活動 ～ニーズ把握 (3例)	デモンストレーション
⑨ 被災地支援-7支援活動～各種事例	
⑩ 被災地支援-8活動記録	
⑪ 被災地支援-9本部への報告	
⑫ 被災地支援-10次グループへの引継ぎ	
⑬ 撤収	

# ①準備

## 参考資料2-2 マニュアル P20

### 「チーム員の活動」

#### 1 平常時の体制に関するチェックリスト

区分	活動項目
(1)連絡ルート の確保	<ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 機構本部</li><li><input type="checkbox"/> 機構事務局</li><li><input type="checkbox"/> 所属施設長等</li><li><input type="checkbox"/> 家族</li><li><input type="checkbox"/> 所属施設・施設の所属団体事務局の連絡先</li><li><input type="checkbox"/> 連絡網システムへの登録</li></ul>
(2)個人携行品 の準備	<ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 生活するために必要なもの</li><li><input type="checkbox"/> 支援活動に必要なもの</li><li><input type="checkbox"/> 情報収集に必要なもの</li></ul>
(3)情報収集	<ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> ラジオ・テレビ・携帯電話等の情報ツールの確保</li><li><input type="checkbox"/> 情報ツール用非常電源の確保</li><li><input type="checkbox"/> 災害情報や災害対応の知識等情報収集</li></ul>

# 一斉メールの例

## 開封確認

岩手県社会福祉協議会

岩手県社会福祉協議会 加藤 良太さん

開封確認登録を行います。

### ◆配信メール情報

配信日時 2014/06/25 19:35  
配信者 岩手県社会福祉協議会 加藤 良太  
区分 災害

コメント

- 1. 自分に被害はありますか？
- 2. 家族に被害はありますか？
- 3. 参集できますか？

【訓練】岩手県内各地で地震災害発生。岩手県沿岸部に特別警報(大津波警報)発令。  
全チーム員は「待機」のこと。  
災害の規模から津波被災地での避難所支援を想定し、本日(3/11)夕刻出動を予定する第1次チームを編成します。活動予定期間は3/11～3/15の5日間。  
安否・出動の可否について、本日(3/11)14:00までに返信のこと。  
以上

コメント(任意)

状況を登録

## ②発災～待機・派遣指示～出動

---

【訓練】岩手県台風10号被害を想定

- 災害発生状況（条件付与）
- 8月30日現在、台風10号は東北地方に上陸する見込みとなっており、毎時40kmで北北西に進んでいる。
- 岩手県内各地で大雨をもたらしている。

### ③被災地支援-1 被災自治体の災害対策本部訪問

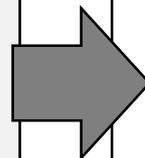
#### 【訓練】災害対策本部との面談

(状況 1)

- 先遣隊は、災害対策本部を訪ね、福祉課の担当者との面談を求めた。
- 福祉課の担当者と会い、打ち合わせを行った。

(訓練)

実際に打ち合わせを行います。  
打ち合わせ内容とその目的を確認しましょう。



- 実際に打合せた後、災害対策本部を訪問したロールプレイを実施
- きちんと自身の役割を説明できているか？

## ④被災地支援-2 支援対象先の視察・調査

### 【訓練】調査計画を立てる

(状況2)

- 災対本部に了承を得て、町民会館等3か所の避難所を調査することになった。

(訓練)

- どのような観点で調査に入るか、検討する。
- 実際に各避難所で聴き取りをして、本隊派遣の規模等を判断する。
- 判断内容の発表を行う。

- 調査計画の立案ができているか？

## ⑤被災地支援-3 避難所管理者への説明・他職種との連携

### 【訓練】活動の了解を得る

(状況3)

- 岩泉町に到着した。
- 県庁から災害派遣福祉チームの出動について連絡が入っていたので、災害対策本部では、ほぼ確認作業はスムーズに進んだ。
- 避難所の町民会館に出向き、避難所の管理者・運営代表者と打ち合わせを行う。

(訓練)

- チームの支援活動の了解を得る。
- 保健師と連携する。
- 相談コーナーの設置等、環境整備を進める。

- 自身の役割を説明し、活動の承認を得る
- 他の専門職への説明と活動に向けた連携体制を構築する

# ロールプレイ

---

- 被災地支援-3 避難所管理者への活動説明
  - ・・・災害派遣福祉チームの役割を説明し、活動の承認を得る
  
- 被災地支援-4 他職種との連携
  - ・・・他の専門職への説明と、活動に向けた連携体制の構築

## ⑥被災地支援-4 要配慮者班等、住民との連携

---

【訓練】避難所運営への支援（例：水沢江刺市の例）

## ⑦被災地支援-5 活動計画

### 【訓練】活動計画を立て、報告を行う

(状況4)

- 聞き取り等によって、情報が得られた。

(訓練)

- その後の結果に基づいて、チームメンバー内の役割分担を決める。担当者は、早速何をするか？
- 分担ごとに、役割と取り組む内容を決め、チーム内で共有しましょう。
- 結果の概要を、本部に報告しましょう。

- 必要な活動を確認し、活動計画を立てる
- その情報を本部に報告をする（現在の状況の報告、今後必要と考えられる支援等）

## ⑧被災地支援-6 支援活動～ニーズ把握

### 【訓練】要配慮者を確認して緊急アセスメントを行い、支援等に結び付ける

(状況4)

- 要配慮者3例

(訓練)

- それぞれの要配慮者について、発見⇒相談支援⇒アセスメント⇒対応の検討⇒対応、の一連を実施

- 必要な支援等への結び付けを行うことができる

# ロールプレイ

---

- ケース1 高齢者  
…84歳・男性
- ケース2 障害児  
…12歳・男性
- ケース3 母子  
…母、生後四か月の乳児、三歳児

## ⑨被災地支援-7 支援活動～各種事例

### 【訓練】支援活動の色々

(訓練・ロールプレイ)

- 避難所の環境改善への取り組み
- 保健師からの相談
- 相談コーナーへの対応
- 避難所での体調悪化への対応

- それぞれ適した活動を行えるか

## ⑩被災地支援-8 活動記録

### 【訓練】活動記録をつける ～様式の改良の検討

(検討・協議)

- 活動記録をつける

## ⑪被災地支援-9 次のチームへの引継ぎ

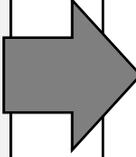
### 【訓練】引継ぎを行う

(状況)

- 当該チームの活動終了時期となり、次のグループに引継ぎを行うこととなった。

(訓練)

- 活動概要書を作成する
- 各担当同士の引継ぎを行う
- 引き継ぎ書を作成する

- 
- 引継ぎの方法を考える
  - 必要な情報は何か考える
  - 次のチームと共有する

## ⑫被災地支援-10 撤収